

庭園から富士山を望む

変容する風景の庭 日本平ホテル

静岡県静岡市

ランドスケープ＝三谷康彦（株式会社 MLS）

写真＝林 義信、Jimmy Cohrsen

本プロジェクトは、静岡市の「日本平公園整備事業」の一環で、静岡の老舗ホテルである「日本平ホテル」が 1964 年の創業以来初となる全面建て替えを行い、リニューアルオープンしたものである。

「日本平公園整備事業」とは、基本テーマを「風景美術館＝日本平」とし、本市の観光、産業のさらなる活性化及び、市民の憩いの場の創出等を図るため、富士山に代表される四周の風景が来園者に感動をあたえる日本一の展望公園づくりを目指す



Floating Stone Transfiguration of Water Garden
NIPPONDAIRA HOTEL
Shizuoka-shi, Shizuoka

Landscape by Yasuhiko Mitani (MLS, Inc.)

Photos by Yoshinobu HAYASHI, Jimmy Cohrsen

した計画である。

本プロジェクトのホテルも「風景美術館」をコンセプトとし、一面ガラスの吹き抜けのエントランスロビーからは、富士山や駿河湾、静岡市街を一望でき、風景を「絵画」のように楽しめる設えとなっている。

日本料理「富貴庵」脇に誕生したこの庭は、ホテルオーナーの川村社長、日建設計の建築担当 村井達也氏、MLS のランドスケープ担当 三谷康彦、他大勢の方々とのコラボレーションによって生まれた。

この庭は、いわゆる「日本庭園」でも「西洋式ガーデン」でもない、紛れもなく「日本平」の土地ならではの風景と環境、そして地形の変化を活かした、ダイナミックにその姿を変容する、「庭」の概念を超えた「外部空間」「ランドスケープ」として捉えられるべきものだ。

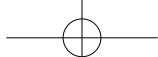
庭の床部分には、地元静岡産の美しい「輝緑岩」の碎石骨材砂利、表面仕上げの表情が微妙に異なる（磨きとバーナー仕上げの 2 種類のチェッカーフラッグ状に張り分けた）黒色花崗岩の方形スレート石、碎石砂利を州浜状に使い、禅庭のよう

にミリ単位の水平線を強調する 3 つの平明な庭に、長い景石が抽象的に配置されている。水深 3cm の池底には必要最小限の抽水植物を線状に必要最小限にあしらってミニマムに構成されている。

池底の石は浮床状態で水平に据え付けられ、水が無ければプラザにも見紛うが、目地は 9 mm でモルタルを一切使用せずに設置しており、この目地部分から水が湧きだして 10 分強で最深部 3cm の非常に浅い平明な池としての風景が立ち現われる。同じく 10 分程度で、水が抜けてプラザとしての使用が可能となる。

水深を浅くし、且つ水質を綺麗に保つ為の、『出来るだけ水に太陽光を当てない』『水は常に動いている状態に保つ』と言う 2 原則に従って、池の水を抜いた際に地下のピットに池の全水量が貯められるような仕掛けに成っている。

「富士山軸」に対してちょうど 90 度の角度で据え付けた長さ 7 m を超える瀬戸内海「犬島」から採掘された伸びやかな何本かの花崗岩の長い石は、建物の長手軸と平行に水面から 15 mm 浮かせて据え付けられ、線状に植栽された抽水植物の柔らかな素材感と相まって、富士山の眺めへの途轍



ガラス窓に映る富士山

もなく深い奥行き感と距離感、加えて平明感の醸成・強調する。

この風景の変容の演出は、この平庭池底から徐々に湧き、また池底に消得て行く水の干満の変化に伴い、以下4つの風景の変化によって、砂利の面・スレート石の面・水面・そして水音など、約30分間の「4楽章」で構成されている。水位の変化がもたらす池の水裳の模様や、広がり感、伸びやかな景石の「浮遊する石の庭」を、特別な食事を楽しまれ、くつろがれる、限られたひと時の間に、目でも風景の変化を味わって頂けるような設えとした。

第一楽章. 「砂利の浅瀬と州浜の風景」

・建物に近接した部分から州浜、池底に向かって、丁寧に敷き詰めた砂利…先ずはそこに水が流れ込み、水盤から一皮分の砂利が次第に水面が覆いかぶさる時間。
・時間の経過と共にこの砂利が見え隠れ、やがて「水平の広がり」を感じる静謐なひとときを楽しんでいただく。川瀬の沢ガニになった気分で・・・

第二楽章. 「黒の石の風景」

・次は、黒いスレート石がひたひたと水に浸かり始める状態をお楽しみ頂く。少しモダンで、ヒューマンなスケール感を醸成していたほのかな石の千鳥模様も時間と共に緩やかに消えて行く

・池全体に水分が補給され、石の色合いの変化が楽しめる時間帯となる。

第三楽章. 「水盤の大水面」

・満水まで水位が上がり、水盤としての大きな広がり感のある水面を楽しんで頂く。
・風が弱い日であれば、池底の黒い床石と砂利の模様が脇役となり、大水面が鏡と化し、空・雲・樹木・月・星と、日本平の自然の風景が水面に彩られ、運が良ければ、「逆さ富士」を見ることが出来る。
・一の池には満水となった大水面に2つのほのかな波紋が広がり、静謐感を強調する。

第四楽章. 「3つの水盤のハーモニー」

・水盤が満水となると、池段差部分で越流が始まり静かな水音を奏で始める。東から西に設えた段差のある3つの水盤からの緩やかな水落ちの水音が響き、3つの水盤が巨大な演出空間として一体になるクライマックスが近づく。
・最終楽章では、日本平では日常的に定番の、水が変容した「霧」を効果的に使用し、水面にミステリアスにたなびく。

水が満ちる時の風景の変容と同様に、水が引く時の緩やかな風景の変容も、また10分間足らずで楽しめるように考えた。

庭の四季折々の季節の変化を、富士山の眺望と

共に存分に楽しめる庭。

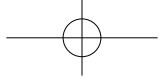
また一日の中でも朝の景、昼の景、夕べの景、夜の景等の時間変化の楽しめる庭。

またこの新しい庭では、時間を凝縮した中での日本平ならではの風景の変容を楽しめるような、御もてなしの空間創生を旨とした。

素敵な、記憶に残る、日本平ならではの風景と共に、美味しい御食事の時間と共に「庭」を存分に味わって頂きたい、お過ごしになる貴重なお食事時間を、十分お楽しみいただきたい・・・そういう願いを込めて、この庭を用意した。

実際の「庭・ランドスケープ工事」運営にあたっては、施主の日本平ホテル様と、ジェネコンとして建築全般工事を請けておられた木内建設さんのご理解を賜り、「庭・ランドスケープ工事」を建築本体工事から外し、完全分離発注として頂いた。その上で、稲治造園工務所さんを建築以外部分全体の「頭」に据え、プロジェクトマネジメント（コスト管理も含め）と全ての外部施工の統括をお願いした。この任にあたったのが優秀な畏友の林義信氏（稲治造園工務所・理事）で、石工事・水景設備工事・州浜工事・舗装工事から植栽工事まで含めて、難易度のかなり高いデザインを良く理解し、最大限に稲治造園工務所としてご協力頂き、効率と品質の両方の要求を十分にクリアした「庭園」空間となった。

文＝三谷康彦（株式会社MLS）



水面が鏡となり日本平の風景を映す



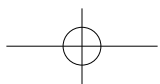
正面の設え



砂利とスレート石の面に張り分けられた池底



様々な表情を見せる花崗岩





水の波紋が広がる『一の池』



池が浮かび上がるような照明の様子

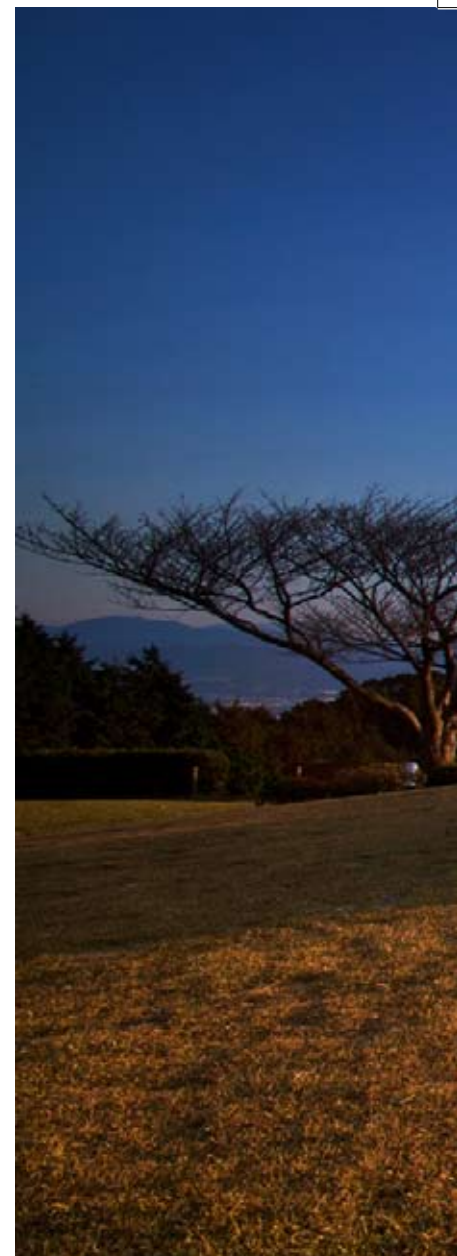
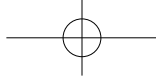


Figure 1: Landscape Architectural Plan. The plan shows a large green field with topographic contour lines, a winding path, and various plantings including trees and shrubs. A building complex is located at the bottom left, and a parking lot is at the bottom right. The plan is surrounded by a road and other urban structures. A small inset photo shows a real-world view of the site.

区画	区画名	面積(㎡)	坪数	用途	備考
1	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
2	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
3	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
4	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
5	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
6	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
7	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
8	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
9	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
10	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
11	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
12	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
13	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
14	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
15	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
16	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
17	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
18	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
19	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
20	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
21	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
22	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
23	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
24	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
25	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
26	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
27	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
28	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
29	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
30	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
31	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
32	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
33	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
34	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
35	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
36	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
37	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
38	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
39	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
40	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
41	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
42	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
43	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
44	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
45	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
46	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
47	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
48	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
49	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
50	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
51	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
52	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
53	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
54	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
55	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
56	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
57	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
58	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
59	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
60	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
61	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
62	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
63	公園地	1,200.00	28.80	公園	-
64	公園地				



和泉正敏氏による庭のモニュメント



082 LANDSCAPE DESIGN



富士山軸に据えられた石のモニュメント Photo by Jimmy Cohrsen

日本平ホテル

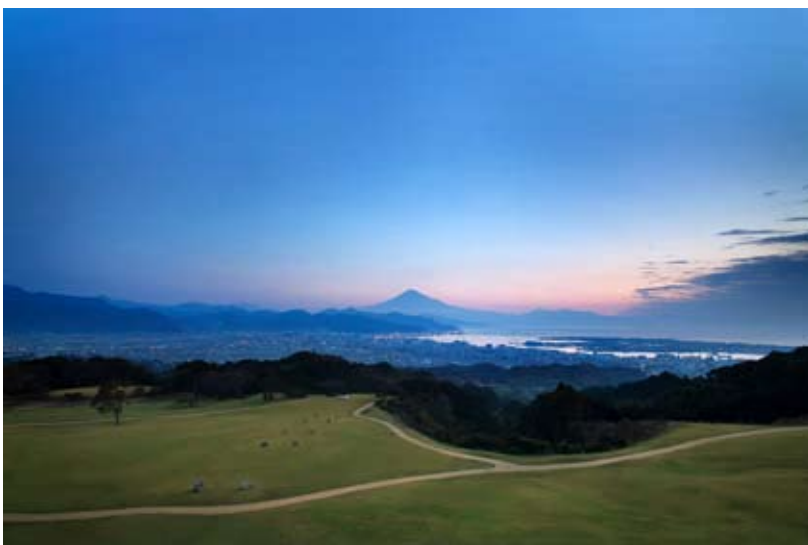
所在地	静岡県静岡市清水区馬走 1500-2
発注者	株式会社 日本平ホテル
設計・監理	建築 村井達也、加古藤 郁 (株式会社日建設計) ランドスケープ 三谷康彦、相澤恵美、西山智子 (株式会社 MLS)
施 工	コンクリート躯体 木内建設株式会社 造園 林 義信、奥田弘一郎、森田康嗣 (株式会社稲治造園工務所) 石工事 和泉正敏 (和泉屋石材店) 水景工事 杉浦正太郎 (株式会社ベルックス) 植栽工事協力 平井造園
規 模	敷地面積 5,769.13 m ² 、延床面積 18,679 m ²
竣 工	2012 年 8 月 31 日



三谷康彦 (みたにやすひこ)

1947 年大阪生まれ

1971 年信州大学農学部林学科造園学教室卒業
1972 年京都大学農学部林学科造園学教室研修生終了後、京都の小島庭園に入門、庭師の小島浅造氏に弟子入り、Peter Walker and Partners, Inc. 入社、株式会社日建設計入社を経て 2009 年自身のスタジオ株式会社 MLS (三谷ランドスケープスタジオ) を設立。



日本平ホテルから望む早朝の富士 Photo by Jimmy Cohrsen